

# INFORMATION



## 令和4年度 支援会員登録講習会

### ◆第73回◆

令和4年6月9日(木)・15日(水)・21日(火)・22日(水)

場所：大船学習センター(6/15のみ14:20まで)

### ◆第74回◆

令和4年10月4日(火)・12日(水)・26日(水)あと1日は未定

場所：鎌倉児童ホーム(予定)

時間：9:30~12:20(1日のみ14:20まで)

※プログラムにより多少の時間変更有

内容：子育て支援に関する各種講義

備考：受講料無料、お申込みは電話・メールで。

※1講義だけでも受講できます。

## 令和4年度 会員研修会

### 乳幼児救命講習会

日時：令和4年7月2日(土)10:00~12:00

会場：大船消防署 定員：8名

令和4年7月9日(土)10:00~12:00

会場：鎌倉消防署 定員：16名

対象：全会員

## 第59号

2022年6月発行



# かまくら ふぁみさぽ通信

〈発行元〉鎌倉市ファミリーサポートセンター



## 鎌倉市ファミリーサポートセンターは 20周年を迎えました

### ● 市長ごあいさつ ●

鎌倉市ファミリーサポートセンターが、このたび開設20周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

ファミリーサポートセンター事業は、「育児や家事の手助けがほしい人」と「手助けをしたい人」が会員になり、地域住民の皆さんで子育てを助ける活動です。現在、依頼会員・支援会員・両方会員を合わせ2,887人の方々にご登録いただき、昨年度の活動実績は、コロナ禍の影響ながらも、5,065件の活動実績となりました。これまで長年、本事業を支えていただきましたスタッフの皆様及び会員の皆様に対し、深く敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。



鎌倉市長 松尾 崇

全国的な少子化や核家族化の進行により地域とのつながりの希薄化が問題となる中、子育てをされる保護者の方はわからないことも多く、ひとりで不安を抱え大変な思いをしている方もいらっしゃると思います。

本市では、令和2年3月に、「第2期鎌倉市子ども・子育てきらきらプランかまくらっ子をみんなで育てよう〜」を策定し、子ども・子育て支援施策を推進してきました。ファミリーサポートセンター事業は「みんなで支え合う」地域ぐるみの子育て支援策として、大変重要な役割を担っていただき、地域の中で子育てをみんなで支え合い、孤独の「孤育て」ではなく、みんなで「つながる子育て」の実現に寄与する事業です。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、気軽に出掛けられないことや実家などにも頼りづらいことで、不安や孤独を感じている保護者の方も多く考えています。ファミリーサポートセンター事業を通じて、多くの保護者の不安や孤立の解消にもつながるものであり、日々の活動においては、その一つひとつのサポートが依頼会員の支えになるとともに地域全体での子育て支援につながるものと考えています。

最後に、これまで本事業を支えていただいた会員の皆様に重ねて感謝を申し上げますとともに、引き続き、子どもの笑顔がひろがるまち鎌倉のためにご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶に代えさせていただきます。

## 「ふたごちゃんの会」ご報告

令和4年3月17日(木) 10:00~12:00

多胎児をお持ちの会員さん同士で経験談などを話し合い、子育ての参考やリフレッシュする場を提供できた...との思いで、試行的に「会員交流会」として行いました。今回は、双子ちゃんを子育て中の依頼会員さんと、双子ちゃんの子育て経験のある支援会員さんにセンターからお声掛けして参加していただきました。会場は「NPO 法人ふぁみりい」理事の自宅の和室をお借りしました。

2組のご家庭のみのご参加でしたが、ご兄弟や支援会員さん等も含め会場の和室は賑やかに！畳の部屋でのひとときを、少しくつろいで過ごして頂けたようです。

双子ちゃん育児の先輩や同じ立場のママの話が聞けて、気持ちが軽くなったとの声を頂きました。

「ふたごちゃんの会」に限らず、日頃ファミサポを利用できていない会員さんが参加できるような会を今後も開催できればと思います。



## 会員の皆さまへ

■依頼会員の皆さまへ 次の依頼日が決まった時はセンターへご連絡ください。  
メール・又はお電話でおねがいします。  
(留守電にメッセージを残していただいてもOK!)

■登録内容に変更があった場合  
・お子さまが生まれた。  
・入園・入学で園や学校が変わった。  
・引っ越しで住所が変わった など

■依頼内容に変更がある場合は、センターに必ずご連絡ください。

■退会届を提出する時は  
HPの退会届(Excel版)に記入の上メールに添付してセンターまで送信してください。郵便でもOKです。

### 《問い合わせ・連絡先》

#### 鎌倉市ファミリーサポートセンター

〒247-0071 鎌倉市玉縄1-2-1 玉縄青少年会館1階

TEL: 0467-43-5401・0467-42-7415

E-mail: [famisapo@pluto.plala.or.jp](mailto:famisapo@pluto.plala.or.jp)

HP: <http://business3.plala.or.jp/kfsc/>

※毎月最終月曜日は休館日です



鎌倉市ファミリーサポートセンターは、鎌倉市こどもみらい部こども相談課から委託事業を受けた「NPO 法人 ふぁみりい」が運営しています。

# KAMAKURA Family Support Center 20th ANNIVERSARY

## 20年をふりかえって

### ファミリーサポートセンターのあゆみと会員数推移

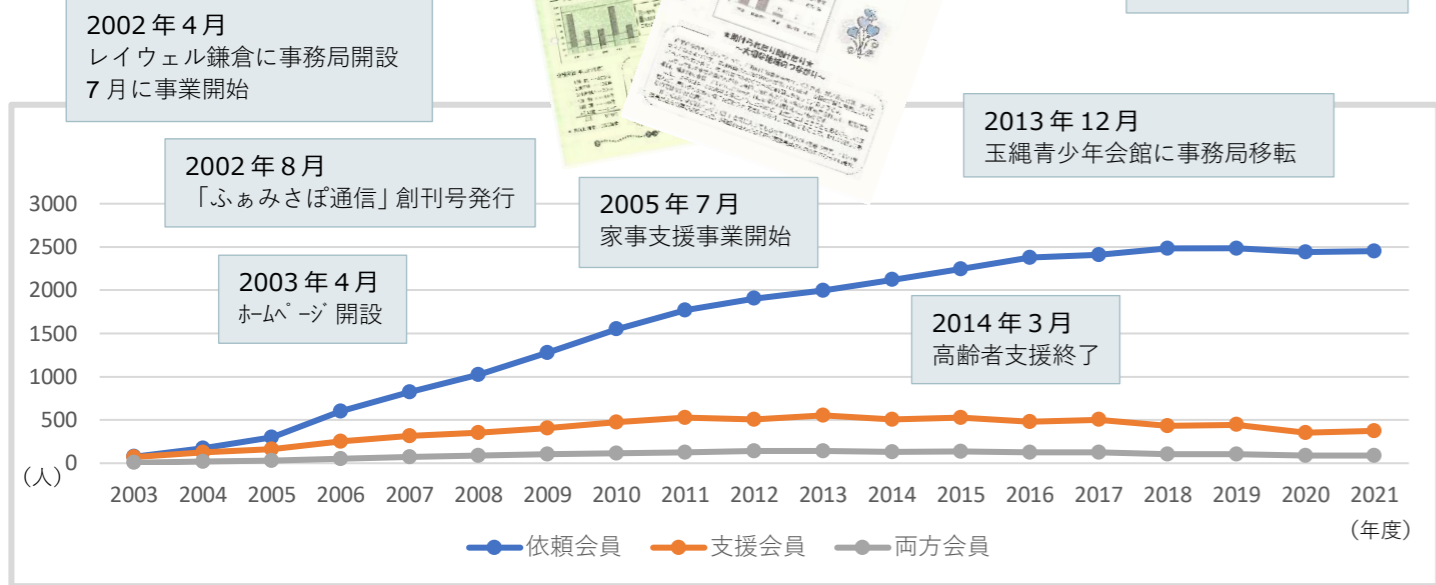
開設時は  
高齢者支援も  
行っていました



2011年11月  
創立10周年事業開催

会員さん・関係者をお招きし、  
記念イベントを開催しました

こどもミュージカル  
を上演しました



2002年4月  
レイウェル鎌倉に事務局開設  
7月に事業開始

2002年8月  
「ふぁみさぽ通信」創刊号発行

2003年4月  
ホームページ開設

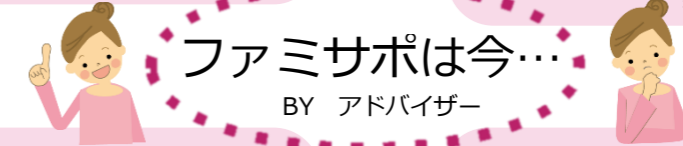
2005年7月  
家事支援事業開始

2013年12月  
玉縄青少年会館に事務局移転

2014年3月  
高齢者支援終了

依頼会員の登録や事前打ち合わせに、  
ご夫婦一緒にいらっしゃる方が多  
くなりました。

コロナ禍で世の中の勤務形態が変わり  
ました。家族が自宅で仕事をしている  
ので、支援宅預かりは出来ませんとい  
う支援会員さん、会議中の見守りをお  
願いしたいという依頼会員さん。依頼  
も変化しています。



事前打ち合わせにアドバイザーが立ち  
会うようになりました。電話やメールで  
のやり取りだけでなく、双方の会員さん  
とお会いしてお話することで、より一  
層コミュニケーションがとれると感じ  
ます。

支援会員さん不足の状態が続いていま  
す。鎌倉市に限らず他のセンターでも同  
じ悩みを持ち、解決策を模索中です。依  
頼会員さんが利用しやすく、支援会員  
さんが安心して支援ができるために何が  
できるか...今後も考えていきます。



コロナ禍に入り「幼稚園・保育  
園への送迎」件数はピーク時の  
半数となりましたが、「依頼会  
員宅での見守り」は一定数の依  
頼件数がありました。

社会状況による保護者  
の就労形態が変化する  
につれ、依頼の内容も  
変わりつつあります。



### 令和3年度会員研修会報告

「がんばってきたママたちへ」  
～感情コントロールと思いやりのプロセスを知り、豊かな心を育もう

令和4年3月5日(土) 9:30~12:30 於: 玉縄青少年会館  
講師: 大竹翠先生(学校カウンセラー・臨床心理士・公認心理師)



心理学と脳科学の知見から、子どもの心がどの  
ように育っていくのか、子どものイヤイヤがいか  
に大切かを学びました。それを踏まえ、具体的な  
事例を挙げ、どのような対応をとるべきかを考え  
ていきました。最後に自分と向き合い、自分自身  
をいたわる「安心のワーク」を行いました。  
久しぶりの託児を設けての研修会となり、定員

いっぱい申し込みがありました。「思いを認める  
ことは自分にとっても子どもにとっても重要とい  
う事がすごく胸に響きました。」「自分自身をいた  
わることはずっと後回しにしていました。」「自分  
で自分をケアするという言葉が心に響きました。  
今後の支援に活かしていきたい。」など沢山のご感  
想を頂きました。



### 20周年を迎えて

NPO 法人ふぁみりい 代表理事 高橋佳子

皆さま、いつも当法人の活動にご協力いただき、  
この場を借りて厚くお礼申し上げます。本当にあ  
りがとうございます。

コロナが波のように押し引きする日が続いて、  
もう3年目ですね。みんなそれぞれ大変な季節を  
過ごしていますが、特に子育て中のご家庭と、そ  
の支援をしてくださる方々におかれましては、通  
常の様々な心配りに加えて、より一層心配りが必  
要な事柄が増え、気の抜けない日々をお過ごし  
のことと思います。

私たちは、皆さまが子育てをしてくださるこ  
と、そのご支援を行ってくださることに

尊敬の念を持ち、感謝しております。そして、そ  
の気持ちを抛りどころに、子育て中の方々とその  
支援を行ってくださる方々を支えて行くにはどう  
すればよいか、日々考えながら活動を行っており  
ます。

地域の助け合いの一助となるべく発足して20  
年。これまで支えてくださった皆さまの志を受け  
継ぎ、時代の変化に沿いながら、これからも鎌倉  
の子育てが幸せなものとなるよう活動を続けてい  
きたいと思っております。

いつもありがとうございます。そして、  
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

